

清水町議会 全員協議会説明資料

JR 根室本線羽帯駅の廃止について

平成 29 年 9 月 22 日

清 水 町

J R根室本線羽帯駅の廃止について

【経過の説明】

平成29年 6月30日 羽帯駅の利用実態についてJ R北海道釧路支社より説明

- ・平成28年11月、J R北海道単独で維持困難な道内13線区と維持可能な11線区を示し、札幌から帯広までは維持可能とされている。
- ・道内全体に老朽構造物が多数あり、多額の費用が見込まれ、極端に利用の少ない施設の廃止に取り組んでいる。
- ・平成27年度より1日の平均乗降が1名以下の駅について廃止対象とし、27年花咲、28年稲士別、上厚内、五十石を廃止。
- ・羽帯駅は過去5年間、11月の定期調査で駅の利用が0など日常の利用実態がない。本年4月に3日間乗降利用を調査。旅行者1名の降車のみ確認。
- ・利用実態から駅の廃止について、次回のダイヤ改正で対応したい。
- ・町からは、後継者が増えて将来通学生が増える可能性がある地域であり、存続の判断ができないか求めたが、J Rは将来の期待値で存続の判断はできないとの回答。地元自治体が経費負担して存続している例として、年間150万～160万円の経費を提示される。
- ・町から、過去の利用実績について切符販売などを再精査し、11月以外も含めた利用状況の再確認と、150万円ほどとされる経費の積算内訳について資料提供を要請。

平成29年 7月10日 羽帯駅の利用実績について追加資料の提供

- ・平成29年4月1日から6月30日までの回収済み乗車券とワンマン整理券で、4月8日、5月30日、6月16日に各1名の乗車を確認。
- ・平成27年4月1日から平成29年6月30日の券売機での販売実績はなし。

平成29年 7月18日 羽帯駅の運営における地域説明会の日程調整

- ・庁内でJ Rの申し出についての対応協議、地域住民への説明と意見集約を図るため説明会を開催することとした。羽帯地域連絡協議会、上羽帯地区推進協議会の会長に状況説明し、小麦等繁忙期を考慮して盆前後の説明会開催を確認。

平成29年 7月27日 駅管理経費の詳細積算資料の提供

- ・月3回の巡回（うち年2回除草）業務、駅設備維持、廃棄物処理の経費内訳を提示。駅設備維持は専門的な業務としてJ Rが行うものだが、それ以外は町管理の場合に経費の圧縮が可能との見通しが示される。

平成29年 8月17日 羽帯駅の運営における地域説明会（第1回）

- ・地域住民7名出席、JR北海道釧路支社より職員2名同席し説明会を開催。
- ・JR側から、町に6月30日に説明された内容と同内容で住民に状況説明。
- ・住民意見
 - ①今後高校生の利用の可能性もあり、できれば存続してほしい。
 - ②小学・中学と御影に通っていて御影駅までの送迎には違和感がない人もいる。
 - ③羽帯駅は暗く、自転車の盗難などもあり、利用には不安な面もある。
 - ④羽帯駅はカーナビゲーションの検索などでランドマークになっている。駅が存続できなくても駅跡の明示を。
 - ⑤町で経費を負担すれば存続が可能という場合、町はどう判断するのか。
- ・町の回答
 - ①子供はたくさんいるけれども将来乗るか乗らないか分からないという状況では判断は難しい。
 - ⑤利用の見通しと存続経費の規模で存続は難しいところだが、地域の意見をいただき、判断したい。
- ・出席者が少なかったことから、協議会事務局から関係農事組合長に意見を伺い、まとめたうえで8月中に町に報告をいただくこととする。

平成29年 8月22日 羽帯地域連絡協議会事務局から報告

- ・いくつかの農事組合長に確認、重要な話に急に判断を求められても困る。11月中旬の例年の要望取りまとめに合わせ、地域で話し合ったうえで存続を望むなら要望書に載せたい。
- ・同日JR北海道釧路支社に、最終判断時期を9月いっぱいより先送りできないか確認を求めたが、本社に確認のうえ判断時期は動かさない旨の返事を受ける。
- ・町から協議会事務局に連絡し、再度関係世帯に周知して説明会を行うこととする。

平成29年 9月 8日 羽帯駅の運営における地域説明会（第2回）

- ・地域住民15名出席、JR北海道釧路支社より職員2名同席し説明会を開催。
- ・JR側から、前回同様の内容で状況説明。
- ・町からの補足として、前回説明会の住民意見を紹介。通学の対応については清水高校スクール便のバスについて、新たに羽帯停車を運行会社に要請し、見通しがついていることを報告。なお、帯広方面の通学は、現状のダイヤでは6時台の停車はするが7時台は停車しておらず、将来の進路選択に基づく対応については町としては持ち合わせていない旨を説明。
- ・住民意見
 - ①町で経費を負担すれば存続が可能という場合、町は9月いっぱいには返事は出来ないという話をしていたがどうなのか。

- ②廃止が確認された場合、実施はいつごろか。
 - ③駅廃止の場合、施設は撤去するのか。
 - ④廃止の報道などで見物人が増えた場合のごみ散乱や違法駐車などの迷惑行為への対応。
- ・町及びJRの回答
 - ①町で経費負担する場合も、少なくとも130万円ほどかかる見通し。今の時点で利用があるかないかという存続のために経費を見ることは難しい。
 - ②廃止についての実施は次のダイヤ改正時。実施が来年あるかどうかはまだ決まっていない。
 - ③ホームは撤去する。
 - ④JR敷地内での迷惑行為については新得駅を窓口に対応したい。
 - ・説明内容について一定の理解を得て、JR側が準備に取り組むことについて異論は出なかった。

【今後の対応】

説明会を経て羽帯地域の住民の方々に、利用実態に基づいた駅の廃止に対するJRの考え方、今後の利用が見通せない中で町費負担による駅存続が難しい状況等にご理解をいただきました。

町としては、地域の説明会の結果を踏まえてJR側の駅廃止の方針を受け入れ、今後の対応についてJR北海道釧路支社と十分に連絡を取り合い、駅周辺設備の撤去に係る諸課題について、周辺住民の生活に支障が無いよう対応して参ります。

【説明資料】

別添のとおり

羽帯駅のご利用実態について

1 沿線状況について

・清水町 人口世帯数の推移

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
人口(人)	10,022	9,928	9,853	9,798	9,647
世帯数(戸)	4,615	4,634	4,643	4,700	4,677

※住民基本台帳(3月末現在)

2 ご利用数の推移等

(1) 11月調査結果(定例)

(1日の乗車人員)

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
乗車数	0	0	0	0	—

※平成28年は、台風被害により調査ができませんでした。

※定期券の利用はございません。

(2) 平成29年4月調査結果

(1日の乗降人員)

	4月23日	4月24日	4月25日
乗車数	1	0	0

※4月23日の1名は、旅行者が降車しております。

(3) 追加調査結果

回収乗車券・ワンマン整理券(各駅・ワンマン列車からの回収切符類)

平成29年4月1日から6月30日日分保管している回収済みの乗車券・ワンマン整理券を確認し
平成29年4月8日、5月30日、6月16日に各1名の乗車を確認いたしました。

乗車券発売記録システム(各駅の発売機器データ)

平成27年4月1日から平成29年6月30日までの記録を確認し、発売実績はありませんでした。

3 運行ダイヤ(H29.3ダイヤ改正)

下り 4本 / 上り 4本

下り(帯広方面)	上り(新得方面)
6:46	7:28
12:05	8:09
13:22	16:48
16:55	19:15



当社単独では維持することが困難な線区について

当社単独では維持することが困難な線区

(13線区・1,237.2km)

- 輸送密度200人未満(片道100人未満)の線区
持続可能な交通体系とするためにバス等への転換について相談を開始します
- 輸送密度200人以上2,000人未満の線区
鉄道を維持する仕組みについて相談を開始します
- 既に「持続可能な交通体系のあり方」について話し合いを始めている線区
- // (方向性が出た線区)

当社単独で維持可能な線区 等

(11線区・1,150.7km)

- 当社単独で維持可能な線区
- 北海道高速鉄道開発(株)関連線区
当園は当社で維持していきますが、線区を持続的に維持するために北海道高速鉄道開発(株)との関連で検討します
- 北海道新幹線(平成42年度末までに札幌開業)
- 北海道新幹線札幌開業に伴う経営分離区間
経営分離されるまでの間、施設のスリム化などに取り組み効率的な運営を行います

※輸送密度は平成27年度実績基準

